



田布施スポーツクラブに所属する「さくら卓球クラブ」は、50～80歳代のメンバー約40人が毎週集い、みんなで楽しく汗を流しています。

5年前、代表の合頭(ごうとう)多恵子さん(78)が仲間呼びかけ、8人でスタート。以来、口コミで徐々にメンバーが増え、現在は経験者チームが火、金曜日、初心者チームが木曜日に田布施町スポーツセンターで活動しています。

“とにかく楽しく、健康維持と老後の楽しみ”がモットー。誰でも気軽に参加でき、プレッシャーがかからないよう試合形式の勝ち負けは競わず、ラリーを楽しむのが決まりだとか。2人1組で30分間のラリーを続けて15分休憩。「毎週の活動日が楽しみで、辞める人はいないんですよ」、皆さんいきいきとした表情で声をそろえ、笑い声が響きます。

夏休み中の日曜日は、子どもたちを対象にした卓球教室を行い、春の花見や忘年会などの親睦会も楽しみだとか。

唯一の男性メンバーという里山良朗さん(72)は「皆さん明るく、仲良く、いつも楽しい。健康のためにも続けていきたい」と笑顔。合頭さんは「歳はとるけどいつまでも元気で、和やかに続けたいですね」と目を輝かせていました。



《先月のテーマ》

Q.10連休の予

A.10連休の方うね。子どもたちあり、家族で出難しいです。

A.10連休は煙が終わったら、です。

A.今年のGWは、ますが、日給バなので仕事です。できればのん

《今月のテーマ》

Q.新元号「令和」新しくしたもの、

た<さんの



新元号 木阪賞文堂(柳井市)

令和 × 柳井 金魚ちょうちん

限定グッズを販売【数量限定】

柳井市の老舗文具店「木阪賞文堂」は、新元号「令和」の記念グッズを5月1日から限定販売します。新元号の発表後、祝賀ムードを盛り上げようと、ノート(350円・税別)とTシャツ(3,800円・税別)を製作。木阪泰之社長(56)は「古くから縁起の良いものとされる金魚(ちょうちん)グッズで、新たな時代の始まりを祝えたら」と笑顔で話します。

ノートはA6判で、金魚ちょうちんの顔をデザインした表紙に「祝令和」の文字を入れ、限定10冊を販売。Tシャツは“希望に満ちあふれた新時代”への思いを込めてデザインし、店頭では限定3枚の販売予定です。木阪さんは「いろいろな意味でリセットして、新たな時代がより良い時代に、そして、柳井がより良い地域になることを願います」と話していました。

柳井のシンボルをあしらった多彩な商品を手がける木阪賞文堂。地元愛とこだわりの詰まったグッズを探しに出かけてみて♪

令和グッズは、柳井中央店(5/1(水)・2(木)の2日間は10時～17時の時短営業)と白壁店(連休も11時～17時の通常営業)で販売。

問合せ: 木阪賞文堂 ☎0820-22-0150

我が地域の消防団!!



柳井市消防団第一部では、月2回の広報を通して火、いて、有事の際には一早く現場に駆けつけ、市民の皆さん、消防団では体力のある若い力が必要です。ぜひ問合せ: 柳井市危機管理室 ☎0820-22-2111(内線